グランドパフォーマンス（LIVE SDD 2018）

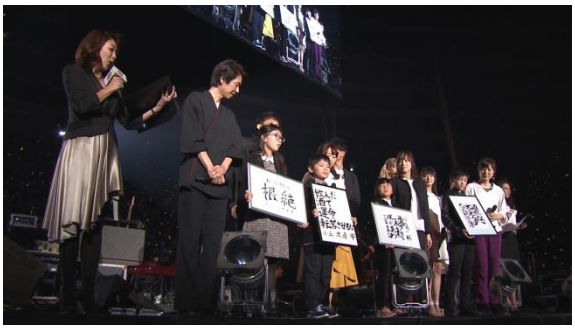
LIVE SDD 2018 におけるグランドパフォーマンス

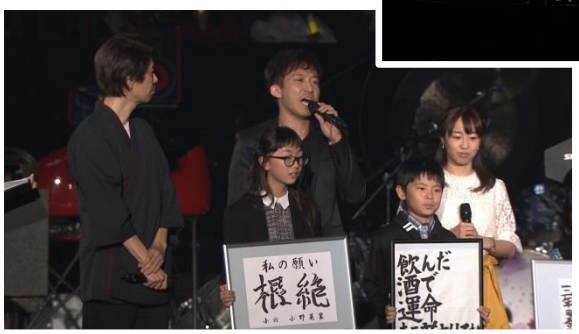
～あなたには何ができますか？飲酒運転をなくすために～

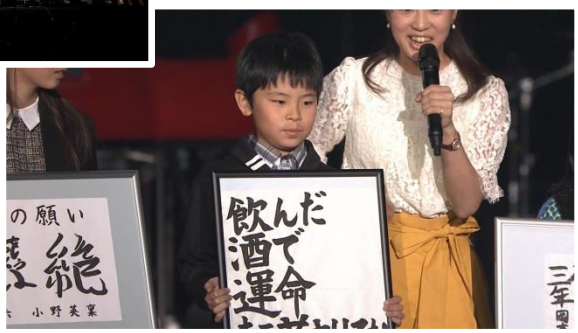
ことしも、全国から応募してくれた、たくさんの小・中学生を代表して、全国 4 地区から 4 名の最優秀受賞者が、1 万人を超える来場者に向けて自分の作品に込めた「飲酒運転根絶えの想い」を伝えました。

ライブには、たくさんの有名アーティストとパーソナリティが「飲酒運転根絶」を合言葉に集結。それぞれが、“自分たちにできることを”と、飲酒運転をなくすために歌やトークとともに、アーティスト自身が書いた書道メッセージで想いを表現しました。

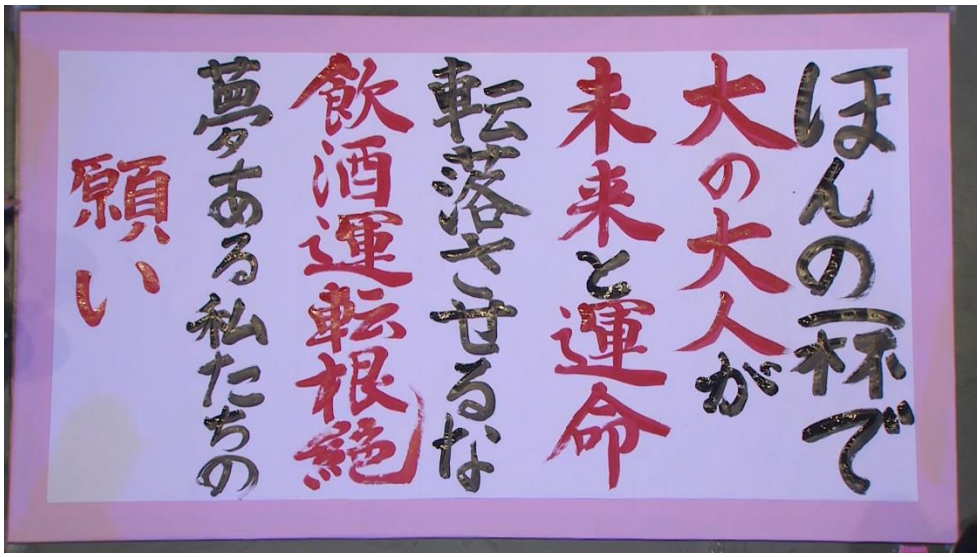
ステージでは、アーティストのメッセージとともに、4 人の子どもたちによる書道パフォーマンスが行われました。子どもたちは、一人ずつ自分の作品に込めた思いを発表したあと、書家の森大衛氏とともにそれぞれ自分の書道メッセージを書き、新たな一つの作品を作り上げました。エンディングでは、総合司会の小倉智明さんが「飲酒運転はゼロにできないことなのでしょうか？」「私たち大人は何ができるでしょうか？」と会場に向かって問いかけ、この作品と作品を書き上げた子どもたちを中心に、アーティストと会場にいるライブ参加者全員が「Heal the World」を合唱しながら、飲酒運転根絶の祈りと決意を新たにしました。

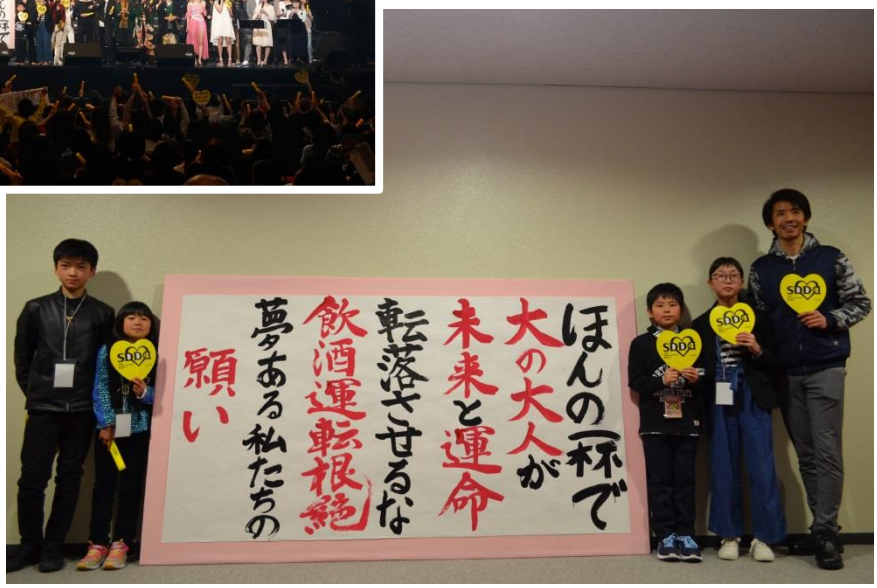






ほんの一杯で
未来
運命
転
夢


ほんの一杯で
大の大人が
未来と運命
転落させるな
飲酒運転根絶
夢ある私たちの
願い


ほんの一杯で
大の大人が
未来と運命
転落させるな
飲酒運転根絶
夢ある私たちの
願い

最優秀作品と受賞者の言葉

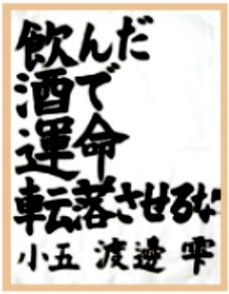
※学年は応募当時のものです。

北海道・東北ブロック

小野 英稟さん(小6)

「飲酒運転をしてしまうと、多くの命や心を失ってしまうので、そんなことは一つでもなくしたいと思って書きました。昨年は最優秀賞を取れなかったので今年は受賞できてうれしいです」

関東・中部ブロック



渡邊 雫さん(小5)

「僕がこの作品に込めた思いは、軽い気持ちでした飲酒運転で、何も悪くない人の命を奪ってほしくないということです。お酒を飲んで事故を起こした人と事故に巻き込まれた人、その家族やみんなが人生を転落させてほしくないという思いで書きました。飲酒運転をゼロにできるようにがんばりましょう」

九州・沖縄ブロック

荒巻 凛太朗さん(小6)

「福岡では、飲酒運転撲滅運動の大きなきっかけとなった海の中道で起きた飲酒運転の事故がありました。飲酒運転という身勝手な大人の行動で幼い兄弟の命が奪われたと聞いて、とても腹が立ちました。大人は子供にあれしろ、これしろというくせに、なんでその大人が幼稚園児でもわかるようなことができないんだと思って、その時一番心に感じたものが、「酒飲んで大の大人がなんぼしょっとか!」でした」

近畿・中四国ブロック

岡本 花穂さん(小3)

「飲酒運転は、ちょっとした軽い気持ちが、夢ある未来を台無しにしてしまうので、この作品を作りました」

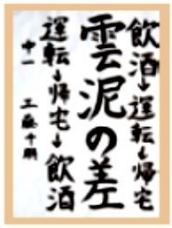
各ブロックの優秀作品

北海道・東北ブロック

山内 彩乃さん(中3)

本間 莉乃さん(小2)

岩淵 春香さん(小6)



工藤 千明さん(中1)

関東・中部ブロック

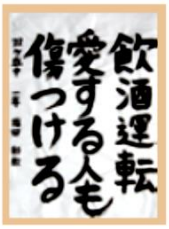
加藤 美蘭さん(中2)

渡邊 花楓さん(中1)

飯田 瀬莉さん(小6)

北川 久登さん(中1)

近畿・中四国ブロック



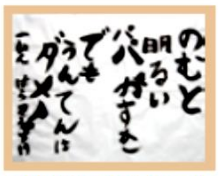
藤田 彩歌さん(中1)

大石 里都子さん(中2)

吉田 眞心さん(中2)

近藤 佑樹さん(小5)

九州・沖縄ブロック



原 想介さん(小1)

横内 涼音さん(小5)

松本 彩花さん(小4)

樋口 まいさん(小6)